

## 食物アレルギー検出キット ラインナップ

### ○FAテスト(甲殻類・くるみ)検出キット一覧

品名	製品コード	統一商品コード	包装	価格
FAテスト EIA-甲殻類Ⅱ	08624	302086245	96回用	68,000円
FAテスト イムノクロマト-甲殻類Ⅱw	08628	302086283	20回用	26,000円
FAテスト EIA-くるみ	08637	302086375	96回用	68,000円
FAテスト イムノクロマト-くるみ	08638	302086382	10回用	16,000円
FAテストⅡ 抽出用試薬	08627	302086276	抽出液A,B,C各1本	11,000円

●遮光下、冷所(2~8℃)保存、禁凍結 ●製造後12ヶ月

#### FAテスト EIA



- 抗体固相化プレート・・・96ウェル(8ウェル×12列)×1枚
- 標準品(50ng/mL)・・・1.2mL×2本
- 検体希釈液・・・100mL×1本
- 酵素標識抗体液・・・13mL×1本
- 酵素基質液・・・13mL×1本
- 反応停止液(1N硫酸)・・・13mL×1本
- 洗浄液(10倍濃縮液)・・・100mL×1本
- 取扱説明書・・・1部

#### FAテスト イムノクロマト



- テストプレート・・・甲殻類20テスト  
・・・くるみ10テスト
- 検体希釈液・・・50mL×1本
- 取扱説明書・・・1部

#### FAテストⅡ 抽出用試薬



- 抽出用A液(10倍濃縮液)・・・100mL×1本
- 抽出用B液(10倍濃縮液)・・・100mL×1本
- 抽出用C液(10倍濃縮液)・・・100mL×1本
- 取扱説明書・・・1部

### ○その他 製品一覧

#### FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ シリーズ

品名	製品コード	包装	価格
FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 卵	08761	96回用	79,800円
FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 牛乳	08762	96回用	79,800円
FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 小麦	08763	96回用	79,800円
FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ そば	08764	96回用	79,800円
FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 落花生	08765	96回用	79,800円
FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ 大豆	08766	96回用	79,800円
FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ くるみ	08791	96回用	79,800円

●遮光下、冷所(2~8℃)保存、禁凍結 ●製造後9ヶ月



- 抗体固相化プレート(カバー付き)・・・96ウェル(8ウェル×12列)×1枚
- 標準溶液(50ng/mL)・・・1.8mL×1本
- 希釈用緩衝液・・・100mL×1本
- ビオチン結合抗体・・・150μL×1本
- 酵素(ペルオキシダーゼ)-ストレプトアビジン結合物・・・150μL×1本
- 発色剤・・・12mL×1本
- 反応停止液(0.5N硫酸)・・・12mL×1本
- 濃縮洗浄液(10倍濃縮)・・・100mL×1本
- 抽出用試薬①(20倍濃縮)・・・50mL×1本
- 抽出用試薬②(20倍濃縮)・・・50mL×1本
- 抽出用試薬③(20倍濃縮)・・・50mL×1本
- 取扱説明書・・・1部

#### FASTKIT スリムシリーズ

品名	製品コード	包装	価格
FASTKIT スリム 卵	08630	20回用	32,500円
FASTKIT スリム 牛乳	08631	20回用	32,500円
FASTKIT スリム 小麦	08632	20回用	32,500円
FASTKIT スリム そば	08633	20回用	32,500円
FASTKIT スリム 落花生	08634	20回用	32,500円
FASTKIT スリム 大豆	08635	20回用	32,500円
FASTKIT スリム 甲殻類	08793	20回用	32,500円
FASTKIT スリム くるみ	08792	20回用	32,500円

●遮光下、冷所(2~8℃)保存、禁凍結 ●製造後12ヶ月



- テストストリップ・・・2テスト×10包装
- 希釈用緩衝液・・・50mL×1本
- 濃縮抽出用緩衝液(10倍濃縮)・・・100mL×1本
- 取扱説明書・・・1部
- ビニールパウチ袋・・・1枚

FASTKIT お問い合わせ先  
日本ハム株式会社 中央研究所  
Tel:029(847)7825  
E-mail:nh.kit@nipponham.co.jp



#### 取扱上の注意

本キットは食品中の特定原材料含有量を測定するための検査用試薬であり、食品アレルギー発症の有無を診断する臨床検査薬ではありません。アレルギー症状の発症には大きな個人差があり、アレルギーの摂取量とアレルギー症状との相関は不明です。

製造販売元

**島津ダイアグノスティクス 株式会社**

お問い合わせ先: カスタマーサポート 担当

TEL: 03(5846)5707

E-mail: support@sd.c.shimadzu.co.jp

URL: https://corp.sd.c.shimadzu.co.jp/

食品・環境検査の情報Webサイト

**COSMOKAI™**

皆様の会員登録を  
お待ちしております

https://industrial-diagnostics.biz.sdc.shimadzu.co.jp/



(TW2404S)

**SHIMADZU**

Excellence in Science

食物アレルギー検出キット

# FAテスト シリーズ

「えび」「かに」「くるみ」表示義務  
食の安全と安心を力強くサポート

FAテスト EIA-甲殻類Ⅱ  
-くるみ

FAテスト イムノクロマト-甲殻類Ⅱw  
-くるみ

FAテストⅡ 抽出用試薬



# FAテスト EIAシリーズ

消費者庁のガイドライン準拠  
EIAによる定量

甲殻類

くるみ

## 特長

- 消費者庁のガイドライン<sup>\*</sup>に準拠
  - ・出荷試験等のスクリーニング検査に使用可能
  - \*平成22年9月10日消食表第286号消費者庁次長通知  
平成26年3月26日消食表第36号消費者庁次長通知により一部改正  
平成27年3月30日消食表第139号消費者庁次長通知  
令和5年3月9日消食表第102号次長通知により一部改正
- 優れた特異性
  - ・特異性に優れた抗体を使用
- 幅広い食品に適用可能
  - ・原材料から加工食品まで測定可能
  - ・加熱・加工食品に対しても反応
- 抽出液の共通使用が可能
  - ・FAテスト シリーズは共通の抽出液

## 試験方法

### STEP 1 食品からの抽出操作<sup>\*</sup>

- ① 食品サンプル(検体)を粉砕機などにより均質化します。(調製試料)
- ② 調製試料1gに検体抽出液19mLを加え、12時間以上振とうします。
- ③ 遠心分離、ろ過を行って不要物を除去します。
- ④ 検体希釈液で20倍に希釈します。

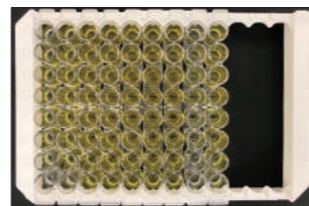
※一般的な抽出操作例です。最適な抽出条件は食品によって異なりますので、必要に応じて検討を加えてください。

### STEP 2 測定操作 (EIA: 所要約2時間半)

- ① プレートアルミパウチ袋に入れたまま20~25℃に戻し、使用直前に取り出します。
- ② 各ウェルに希釈した標準溶液および測定溶液100μLを加え、軽く攪拌したあと20~25℃で1時間静置します。
- ③ 各ウェルの中身を捨て、調整した洗浄液250~300μLを加えて洗浄します。これを5回繰り返したあと、酵素標識抗体液100μLを加えて1時間静置してください。反応終了後、再び洗浄します。
- ④ 各ウェルに酵素基質液100μLを加え、軽く攪拌したあと20~25℃、遮光下で20分静置し、反応させてください。その後、反応停止液100μLを添加します。

### STEP 3 結果判定

- ① プレートリーダーにて、主波長450nm、副波長600~650nmの吸光度を測定します。



## EIA測定原理



# FAテスト イムノクロマトシリーズ

簡易型迅速検出キット  
見やすく、使いやすいテストプレート

甲殻類

くるみ

## 特長

- 優れた感度
  - ・最小検出感度は、食品中の濃度で数ppm
  - ・加熱・加工食品に対しても反応
- 短時間で簡単な検査方法
  - ・検査方法は、調製後の試料溶液をテストプレートに滴下するだけ
  - ・結果判定は、20分、目視判定
- 検査対象は広範囲
  - ・食品検査や製造工程等の日常の自主検査に活用
  - ・ふき取りキットを用いたふき取り検査も便利
- 抽出液の共通使用が可能
  - ・FAテスト シリーズは共通の抽出液



- ・見やすく判定しやすい
- ・滴下しやすい
- ・持ちやすい
- ・個包装で保管性UP

## 試験方法

### STEP 1 試料調製



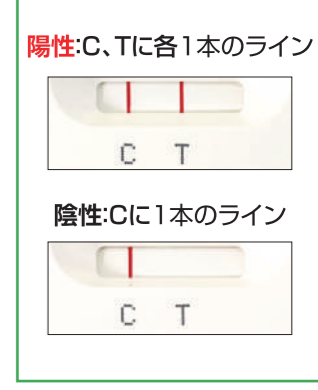
※製造ラインの洗浄水

綿棒・ふき取り液・ピペット機能一体化 **ふき取りキット** (製品コード: 06538) が便利!!

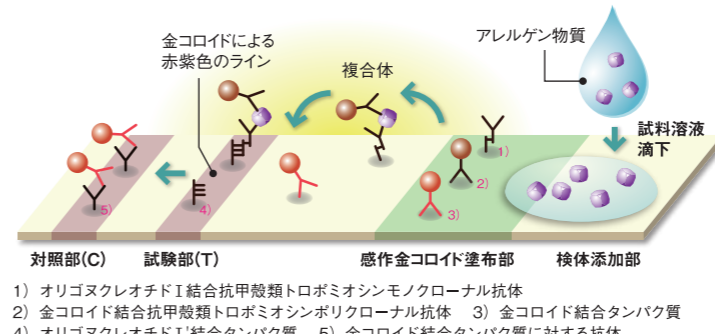
### STEP 2 テストプレート操作



### STEP 3 結果判定



## イムノクロマト法測定原理 (例: FAテストイムノクロマト-甲殻類IIw)



- 1 プレートに試料溶液を滴下すると、感作金コロイド塗布部の試薬が溶解し、試料中のアレルゲンと複合体を形成
- 2 複合体が判定部に移動し、試験部(T)に固定化されたオリゴヌクレオチドに相互反応により捕らえられ、赤紫色ラインを形成
- 3 一方、試料中のアレルゲンの有無に関わらず試料溶液が正常に移動すると対象部(C)に赤紫色ライン